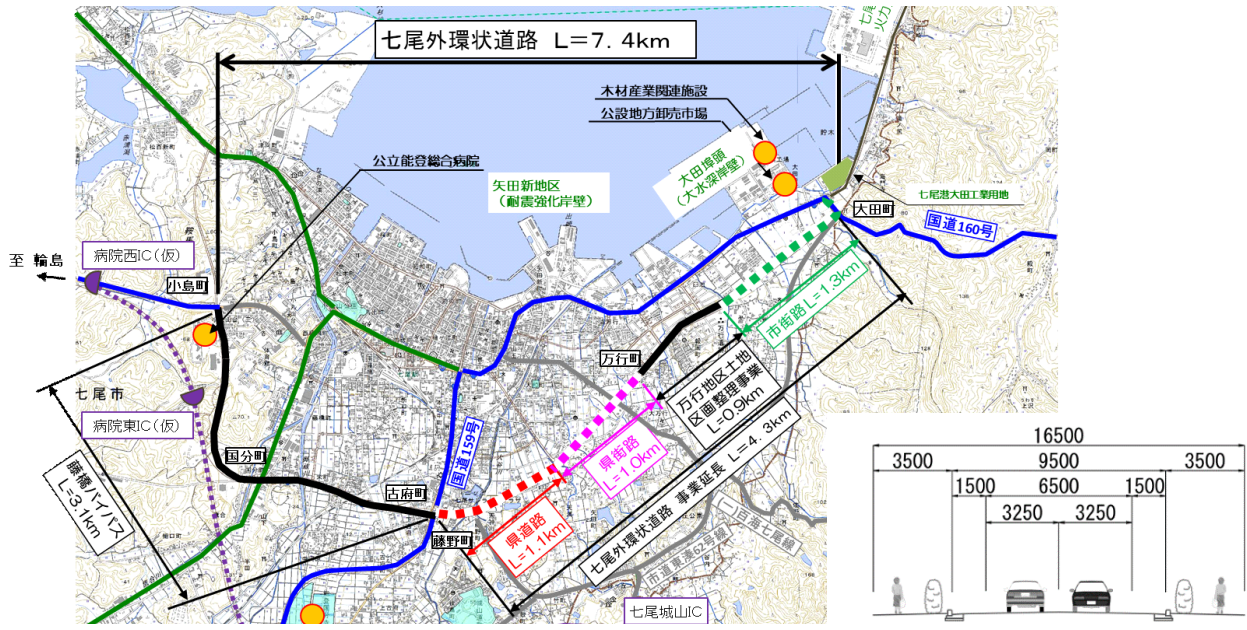


## 再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：野田 勝

事業名： 空港・港湾等アクセス 一般県道 百海七尾線 <small>とうみなお せいのなな</small>	事業区分： 地方道	事業主体： 石川県		
起終点： 自：石川県七尾市古府町 至：石川県七尾市矢田町 <small>ななお ふるこまち</small> <small>ななお やたまち</small>		延長： 1.1 km		
<b>事業概要</b> 一般県道百海七尾線は、七尾市街地の外郭を形成し、七尾都市圏の交通の円滑化と広域交流の拡大を図る七尾外環状道路の一部を構成し、中心市街地の渋滞緩和や、良好な街づくりの推進や、津波により浸水が想定される国道160号の代替路を確保するとともに、緊急物資輸送等を図る重要港湾七尾港へのアクセス強化等を目的として、七尾市古府町～矢田町までの延長1.1 kmを整備するものである。				
H29年度事業化	H29年度都市計画決定	H30年度用地着手		
H31年度工事着手予定				
全体事業費	約13億円	事業進捗率		
計画交通量	8,800台/日	供用済延長		
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 1.6 (残事業) 1.6	総費用： (残事業)/(事業全体) 12/12億円 (事業費：11/11億円) 維持管理費：1.3/1.3億円	総便益： (残事業)/(事業全体) 19/19億円 (走行時間短縮便益：17/17億円) (走行経費減少便益：1.0/1.0億円) (交通事故減少便益：1.0/1.0億円)	基準年： 平成28年
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量：B/C=1.4~1.8(交通量±10%) 事業費：B/C=1.5~1.8(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.5~1.7(事業期間±20%)			(残事業) 交通量：B/C=1.4~1.8(交通量±10%) 事業費：B/C=1.5~1.8(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.5~1.7(事業期間±20%)	
<b>事業の効果等</b> ・重要港湾七尾港から金沢能登連絡道路上柵矢駄ICへのアクセス向上が図られる ・国道160号が津波で浸水した際に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている ・「ダブルラダー輝きの美知」構想(H27.3策定)の主要事業に位置付けられている				
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 事業継続を妥当と認める				
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> -				
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地取得率約43%、事業進捗率約17%				
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、改良工の工事を推進していく				
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく				
対応方針： 事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b> 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。